

サムシングホールディングス株式会社 (証券コード:1408) 2013年12月期 第2四半期決算説明会



平成25年8月16日(金)

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- I. 会社概要**
- II. 市場環境**
- III. 当社の取り組み**
- IV. 2013年12月期 第2四半期決算概要**
- V. 2013年12月期 計画**
- VI. 中期経営計画**



I . 会社概要

会社概要



証券コード:1408

【会社名】	サムシングホールディングス株式会社 (英文:Something Holdings Co., Ltd.)
【事業内容】	・地盤改良事業 ・保証事業 ・地盤システム事業 ・その他の事業(住宅検査関連業務、外構工事など)
【設立】	平成12年10月 (株式移転前の前身 株式会社サムシングは平成9年6月設立)
【資本金】	334,630千円(平成25年8月9日現在)
【発行済株式総数】	3,219,200株(平成25年8月9日現在) 平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。
【代表者】	代表取締役社長 前 俊守
【決算期】	12月31日
【本店所在地】	東京都中央区新川一丁目17番24号
【従業員数】	単体 11名(平成25年6月30日現在) 連結 326名(平成25年6月30日現在)

グループ概要

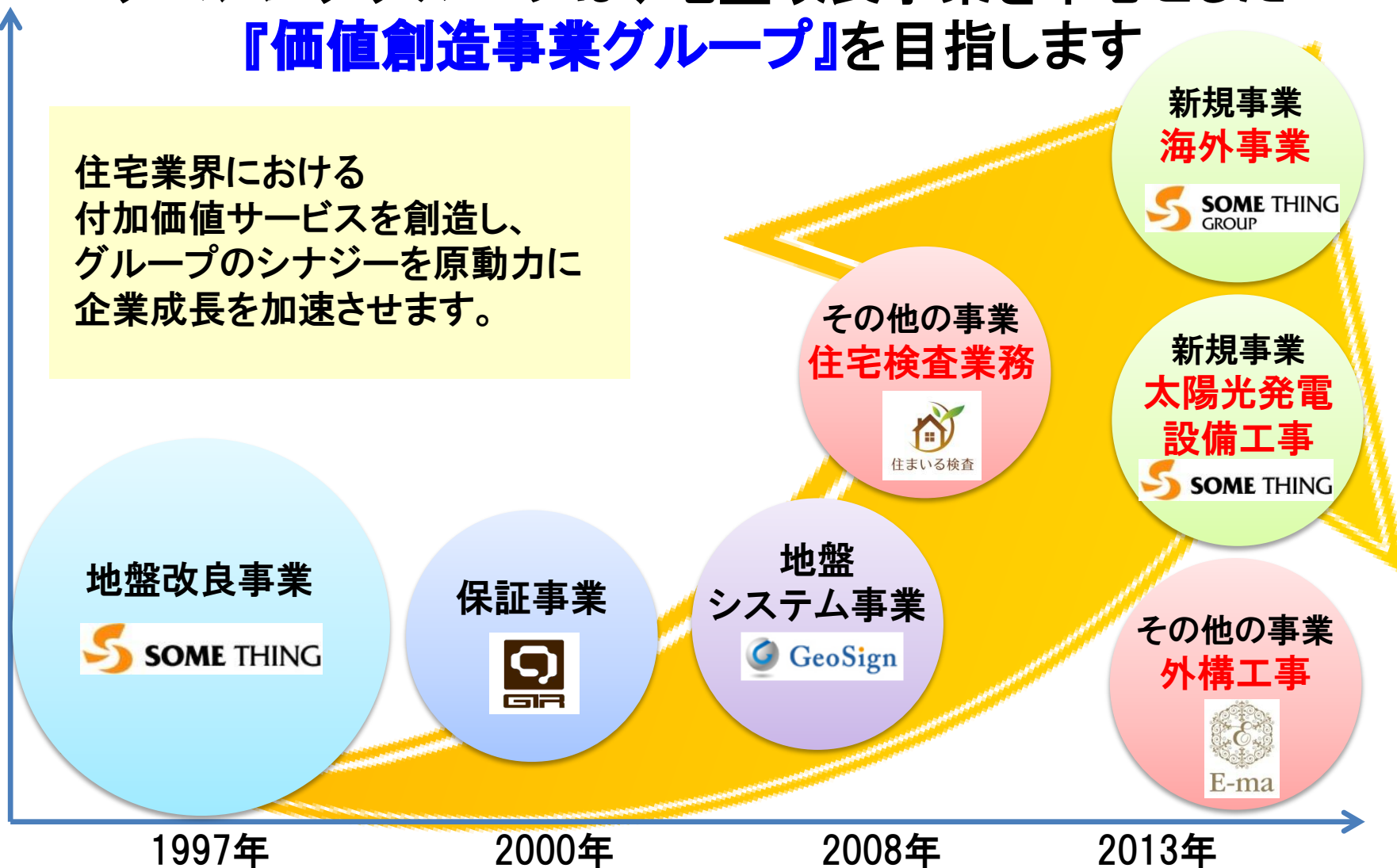


事業内容

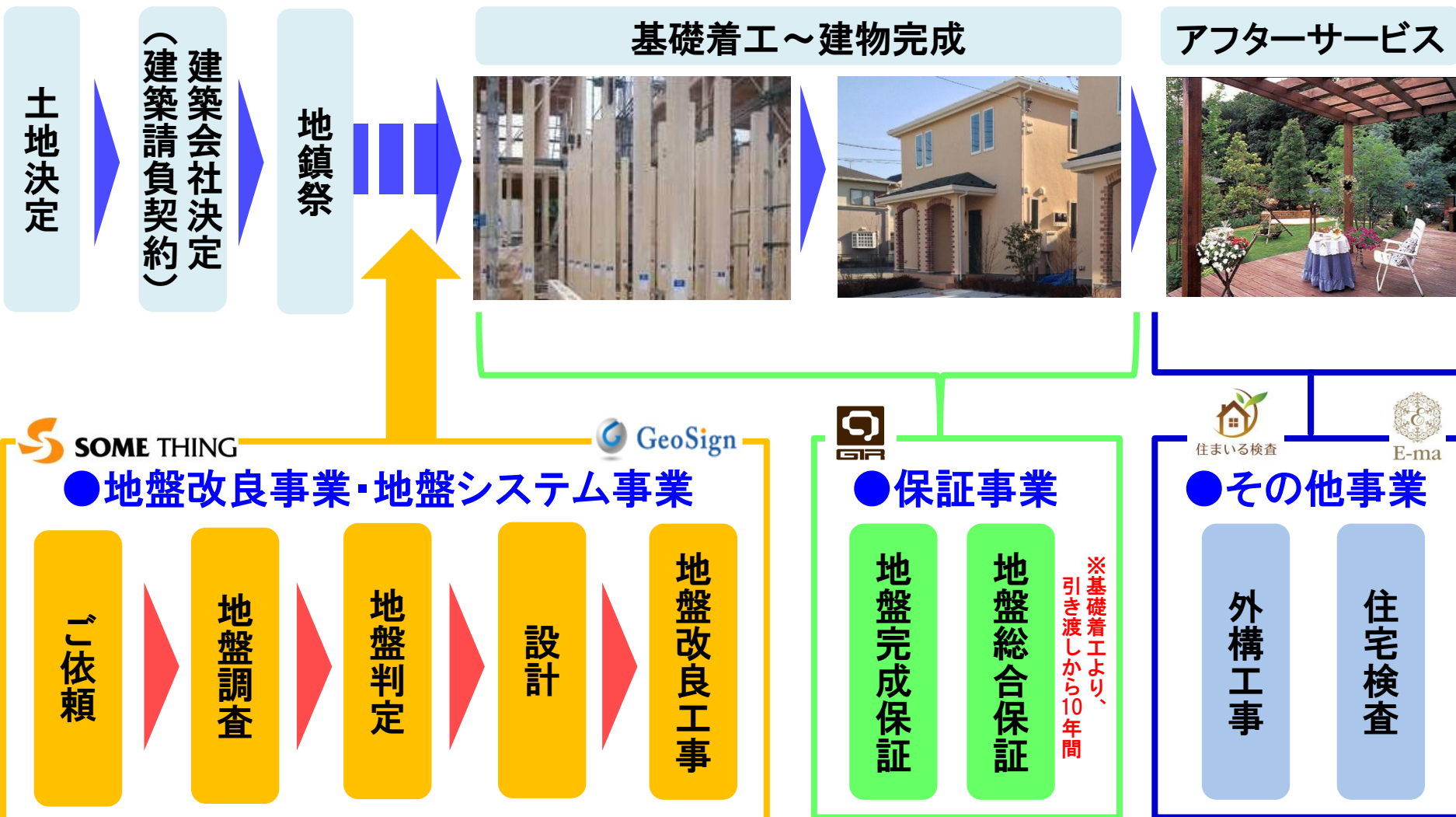
セグメント	主な事業の内容	主な会社名
地盤改良事業	住宅地盤調査 住宅地盤改良工事 沈下修正工事 擁壁工事 測量 地盤関連業者に対する業務支援 太陽光発電設備工事	(株)サムシング (株)GIR
保証事業	住宅地盤保証 住宅完成支援サービス	(株)GIR Something Re. Co.,Ltd
地盤システム事業	各種システムのレンタル・販売	ジオサイン(株)
	電子認証サービス	ジオサイン(株)
その他の事業	住宅検査関連業務 外構工事 東南アジア事業会社への投資 及び経営管理等	(株)住まいる検査 *平成25年7月1日 (株)ユナイテッド・インスペクターズより社名変更 (株)E-ma(イーマ) *平成25年3月1日設立 SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD. *平成25年3月20日設立

サムシンググループは、地盤改良事業を中心とした 『価値創造事業グループ』を目指します

住宅業界における
付加価値サービスを創造し、
グループのシナジーを原動力に
企業成長を加速させます。



当社グループの事業





全自動式調査機＊と独自の認証システムの活用

**スウェーデン式
サウンディング試験**

全自動式のため
作業にバラツキが
ありません



G-Web System

電子認証により精度
の高いデータを提供



当社独自の正確な調査データ

調査結果 (北側撮影)	
北側撮影	北側撮影
調査結果 (南側撮影)	
南側撮影	南側撮影

スウェーデン式サウンディング試験結果	
試験番号	試験結果
1	1.0
2	1.5
3	2.0
4	2.5
5	3.0
6	3.5
7	4.0
8	4.5
9	5.0
10	5.5
11	6.0
12	6.5
13	7.0
14	7.5
15	8.0
16	8.5
17	9.0
18	9.5
19	10.0
20	10.5
21	11.0
22	11.5
23	12.0
24	12.5
25	13.0
26	13.5
27	14.0
28	14.5
29	15.0
30	15.5
31	16.0
32	16.5
33	17.0
34	17.5
35	18.0
36	18.5
37	19.0
38	19.5
39	20.0
40	20.5
41	21.0
42	21.5
43	22.0
44	22.5
45	23.0
46	23.5
47	24.0
48	24.5
49	25.0
50	25.5
51	26.0
52	26.5
53	27.0
54	27.5
55	28.0
56	28.5
57	29.0
58	29.5
59	30.0
60	30.5
61	31.0
62	31.5
63	32.0
64	32.5
65	33.0
66	33.5
67	34.0
68	34.5
69	35.0
70	35.5
71	36.0
72	36.5
73	37.0
74	37.5
75	38.0
76	38.5
77	39.0
78	39.5
79	40.0
80	40.5
81	41.0
82	41.5
83	42.0
84	42.5
85	43.0
86	43.5
87	44.0
88	44.5
89	45.0
90	45.5
91	46.0
92	46.5
93	47.0
94	47.5
95	48.0
96	48.5
97	49.0
98	49.5
99	50.0
100	50.5

＊一般的に手動式・半自動式地盤調査の場合は作業を行う人によって調査データにバラツキが生じ易い



主な改良工法の紹介

柱状改良工法

セメント系固化材と土を混合して地中に改良体を形成する工法



鋼管杭工法

既成鋼管を用いることで施工品質が確保でき、腐食土にも適用可能な工法



表層改良工法

地表面から2m以深が良好な場合に適用され、セメント系固化材と土を混合して改良体を形成する工法



地盤保証
実績
6万棟以上

地盤総合保証サービス(ザ・ランド)

『THE LAND』

業界初



「THE LAND」の特長

- ① 大手損害保険会社が引受保険会社となる
10年継続PL保険付地盤審査
- ② 一事故5000万円まで保証、てん補率は100%
- ③ 保証期間は基礎着工日から、引渡日より10年
- ④ 住宅瑕疵担保責任保険に伴う内容(把握困難な地質状況に起因する不同沈下は住宅瑕疵担保責任保険ではカバーされない)に対応
- ⑤ 一物件毎に付保証明書を発行
- ⑥ ビルダーも被保険者として適応

THE LAND NEXT

ザ・ランド ネクスト

(中古住宅売買時)5年間の地盤保証

- 地盤の修復費用も保証対象
- 一事故1000万円まで保証てん補率は100%



THE LAND plus

ザ・ランド プラス

地震補償保険付き地盤保証

- 査定は自治体発行の「り災証明書」が基準
- 一事故500万円まで保証

地震等が原因で発生した火災による損害はなんと、火災保険の補償の対象となっておりません！

地震保険の場合、火災保険の保険金額に対して保証されるのは30～50%！

G-Web System

＜独自のシステム＞

電子認証の活用

- ①不正、改ざん不可の調査データ
- ②GPS(詳細な位置情報)
- ③タイムスタンプ(調査日時の記録)

▶ 「信頼性のある情報提供」



新築住宅用の検査

第三者検査機関として、
建築過程の品質検査を行います



既存(中古)住宅用の検査

既存住宅の購入を検討している
お客様のニーズに対応します



メンテナンス検査

住宅を維持・管理し資産としての
価値を持続させます



住宅サポートサービス

住宅に関する相談を建築のプロである
建築士が対応します





E-maのデザイン

「想像を超えた感動を」

経験豊富な設計者との綿密な打ち合わせにより、
一人一人の生活スタイルに合わせたデザインを提案いたします。



SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD.

- 平成25年3月20日設立
- サムシングホールディングス 株式会社
100%子会社
- ベトナム等、東南アジアの事業会社への
投資及び経営管理等



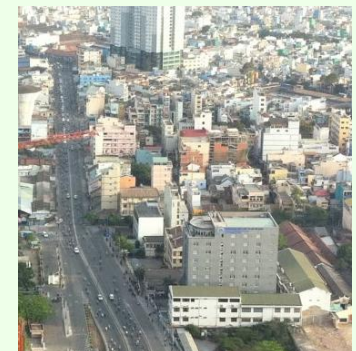
SOMETHING VIETNAM CO.,LTD. (予定)

- 平成25年7月19日公表
- 平成25年10月1日設立(予定)
- SOMETHING HOLDINGS ASIA
PTE. LTD. 100%子会社
- 地盤調査、地盤改良工事
土木工事建材の輸入販売等



SOMETHING HOMES CO.,LTD.(予定)

- 平成25年7月19日公表
- 平成25年8月中旬設立(予定)
- SOMETHING HOLDINGS ASIA
PTE. LTD. 50%出資子会社
- 住宅建設工事、建材の製造
及び販売等



地盤調査から架台及びパネル設置工事 までをワンストップで提供

＜太陽光発電設備工事の流れ＞

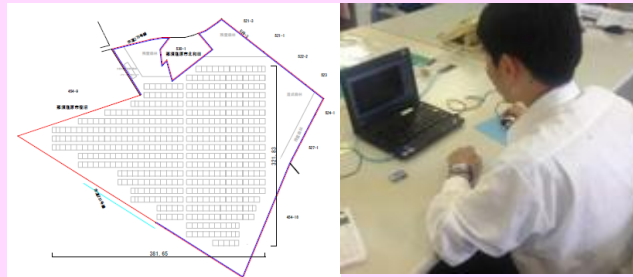
地盤調査

地盤の地耐力を測定



設計

調査結果に基づき改良長等を決定



地盤改良工事

柱状改良体を施工



架台設置工事

改良体に架台を固定



太陽光パネル設置工事

測量機器の使用



完成





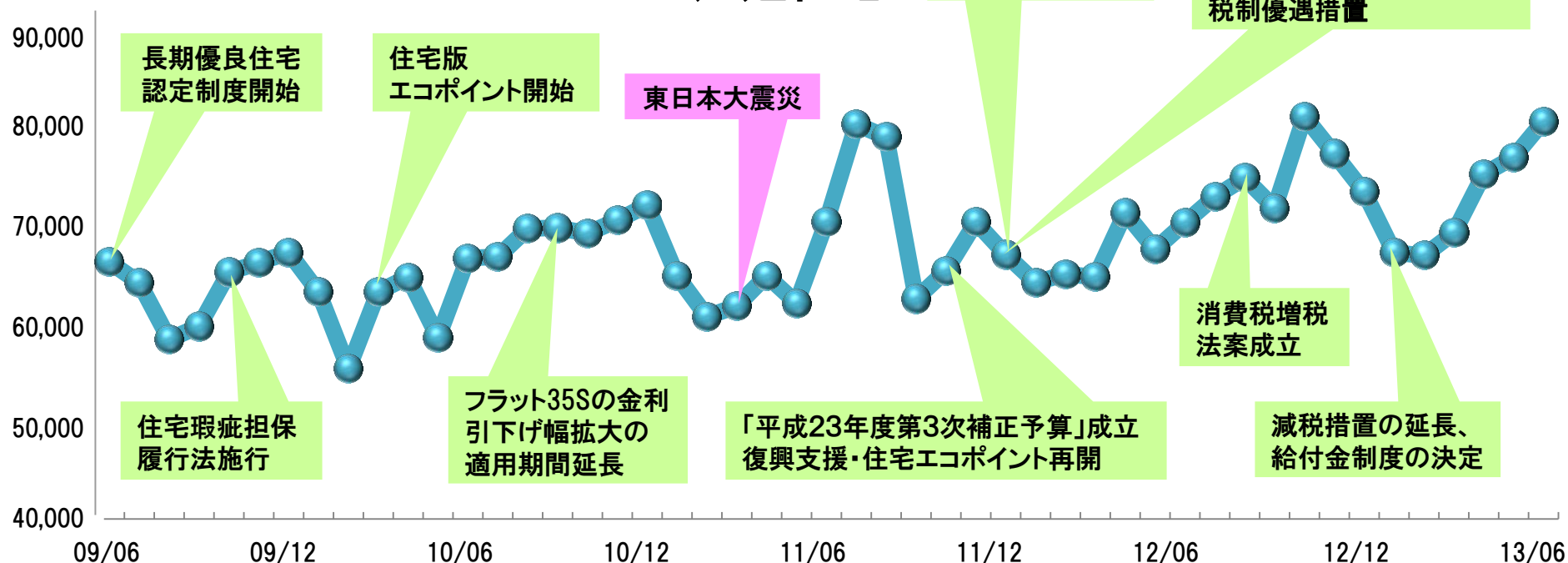
II. 市場環境

直近の新設住宅着工戸数推移

国土交通省の建築着工統計調査をもとに当社の会計期間に合わせております。

(単位:戸)

戸建住宅



(単位:戸)	10/8 2Q	*10/1月~6月	11/12 2Q	12/12 2Q	13/12 2Q	前年同期比 (%)
	09/9月~10/2月		11/1月~6月	12/1月~6月	13/1月~6月	
住宅着工戸数	387,275	381,653	395,550	415,360	451,063	+8.6
戸建住宅	190,704	191,383	197,796	201,999	223,686	+10.7

※2010年12月期より8月から12月に決算期を変更しております。

※戸建住宅とは、住宅着工戸数全体における、持家と分譲(一戸建)の着工戸数の合計

出所:建築着工統計調査(国土交通省)

●2007年10月 『住宅瑕疵担保履行法』の施行

⇒瑕疵担保責任を確実に履行するため、資力確保措置(保険加入または供託)の事業者への義務付け等

●2009年6月 『長期優良住宅の普及促進に関する法律』の施行

「つくっては壊す」フロー消費型から

「いいものをつくってきちんと手入れして、長く大切に使う」ストック型へ

⇒耐久性、耐震性等を備えた質の高い住宅へ

●2010年9月 【フラット35S】(優良住宅取得支援制度)の金利引下げ幅拡大の適用期間を延長

●2011年3月 東日本大震災

⇒建築物被害 全壊126,467戸、半壊272,244戸、一部破損742,068戸
(2013年7月10時点)

⇒千葉県浦安市における液状化被害等 37,023世帯

●2011年10月 2011年度 第3次補正予算成立

⇒復興支援、住宅エコポイント再開
(エコ住宅に対してポイント付与)

●2011年12月 宮城県復興住宅計画を策定

⇒平成27年まで約15,000戸の公営住宅を整備

●2012年8月 消費税増税法案成立

⇒現行5%の消費税率を平成26年4月に8%、平成27年10月に10%に引き上げへ

⇒平成25年度は消費増税前の駆け込み需要の予測

●2012年12月～ 日銀による異次元金融緩和政策

⇒消費マインドの改善による堅調な住宅着工数の推移

●2013年1月 2012年度 国土交通省 税制改正

⇒平成25年度末に期限切れとなる住宅ローン減税の延期

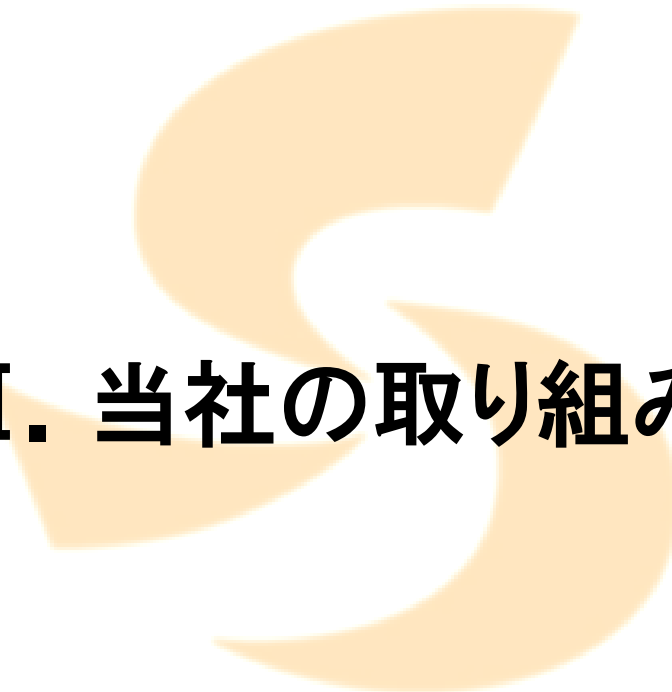
⇒平成26年4月に住宅購入者向け給付金制度の導入の決定

●2013年6月 住宅着工戸数

◆住宅着工戸数 83,704戸（前年同月比 15.3%増、10か月連続の増加）

◆持家住宅は 30,699戸（前年同月比 13.8%増、10か月連続の増加）

◆分譲住宅(一戸建て住宅)は 11,651戸（前年同月比 9.4%増、10か月連続の増加）



Ⅲ. 当社の取り組み

住宅市場動向と当社の取り組み

住宅市場動向

低コスト重視

東日本大震災

- 液状化による建物沈下被害の発生
- 太陽光発電の需要増加

地盤に対するニーズの2極化

- ①**高品質**
- ②**低コスト**

住環境の変化

デザイン・設備・安全性を重視する傾向

新興国の経済成長

2011年
3月

2013年
3月

2013年
8月

- 生産性の向上
スウェーデン式
サウンディング試験
- 高効率な工法の開発
NSVコラム工法等

- 太陽光発電設備工事
太陽光パネル設置時に
おける地盤調査・改良の
需要発生

●外構工事
株式会社 E-ma

●海外事業(シンガポール)
SOMETHING HOLDINGS
ASIA PTE. LTD.

- 沈下修正工法
混合2液回転噴射装置
- 液状化対策の実施
バイブロドリル式
ボーリングマシンの開発
エコジオ工法

- 正確な地盤調査(ボーリング)
の低コスト化
バイブロドリル式ボーリングマシン
- 高品質な地盤改良
STK-W工法、くし兵衛工法など

●海外事業(ベトナム)
SOMETHING VIETNAM
CO.,LTD.(予定)
SOMETHING HOMES
CO.,LTD.(予定)

当社の取り組み

バイブロドリル式ボーリングマシン

特許第
5021104号
取得

東日本大震災により、液状化対策のニーズが高まった

- 土質と水位を正確に識別
- マシンの開発による自動化
→工期の短縮が可能
→低コスト化



土を探ることができる! 今までの地盤調査では不可能だった土質の判別が可能

土質の判別が可能
地下水位をはかることができる! 今までの地盤調査では不明確だった地下水位の測定が可能

地下水位を把握
土の大きさはかることができる! 細粒分含有試験など物理試験が可能

土質試験が可能

戸建住宅における液状化対策を可能にした

当社グループが開発した改良工法①

NSVコラム工法

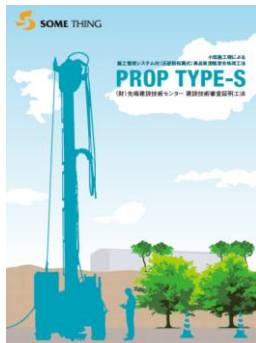
攪拌翼の上面からセメントを吐出する工法
建設技術審査証明(BCJ-審査証明-149)

特許
第4072968号
取得



PROP TYPE-S

地盤内に直径1,000mmの柱状改良体を築造する工法
財団法人先端建築技術センター技術審査証明
(技審証第2201号)



HITSコラム工法

経済的で高品質な柱状改良工法
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第08-03号)

DM(ダブルメタル)工法

施工性に優れており、工期が短く、ローコストな工法
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第10-01号)



エコジオ工法

砕石を用いることにより環境負荷を低減する工法
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第09-31号改)



当社グループが開発した改良工法②

コラムZ工法

改良径 ϕ 1000,1200を用い、大型物件に対応した工法建築技術性能証明(GBRC性能証明 第12-26号)

改良径 ϕ 600

改良径 ϕ 1200

(大きさ比較)



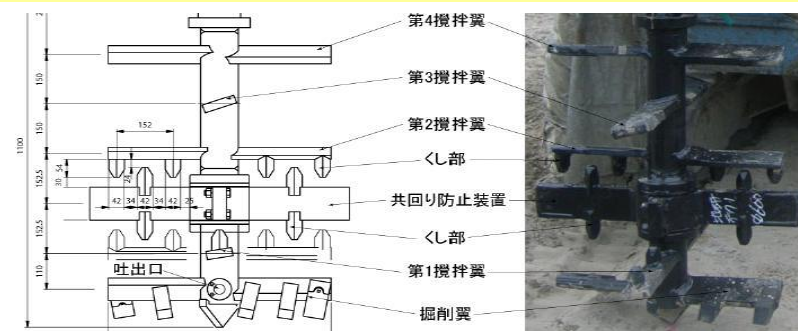
STK-W工法

改良体の2本同時掘削攪拌装置により工期短縮を実現
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第12-33号)



くし兵衛工法

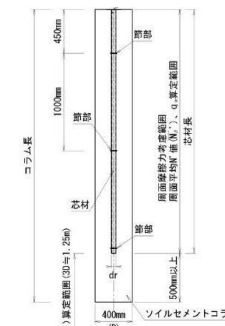
共回り防止翼と攪拌翼に突起を設けた掘削攪拌装置を開発
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第13-03号)

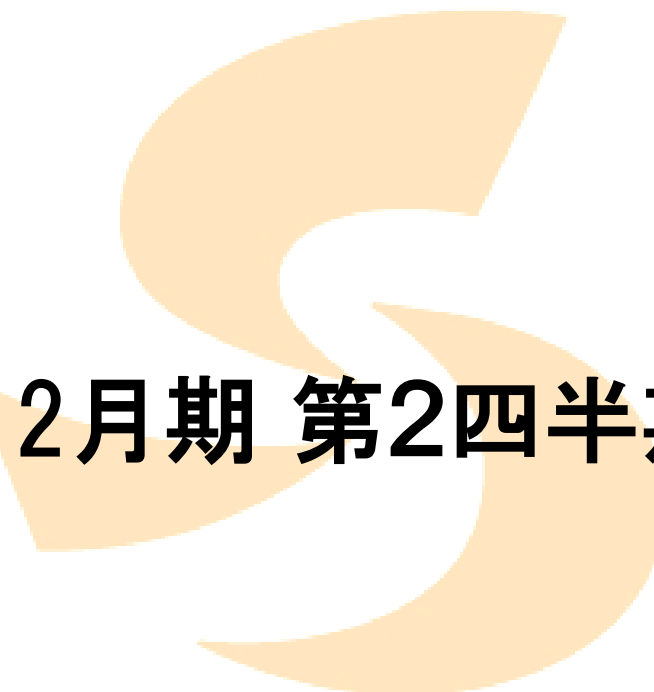


しん兵衛工法

改良体と芯体を一体化させることで剛性と耐性の向上を実現
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第13-04号)

※鋼管とセメントが一体となった改良体





IV. 2013年12月期 第2四半期決算概要

※注記

2010年12月期より決算日を8月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、2010年1月～6月の期間数値は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

(1)平成25年12月期第2四半期累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想(A) (平成25年2月14日発表)	4,703	57	40	1	0.31
今回発表予想(B)	4,373	57	46	15	4.90
増減額(B-A)	△330	0	6	14	—
増減率	△7.0%	0%	17.4%	1,475.4%	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

(2)連結業績予想数値の修正の理由

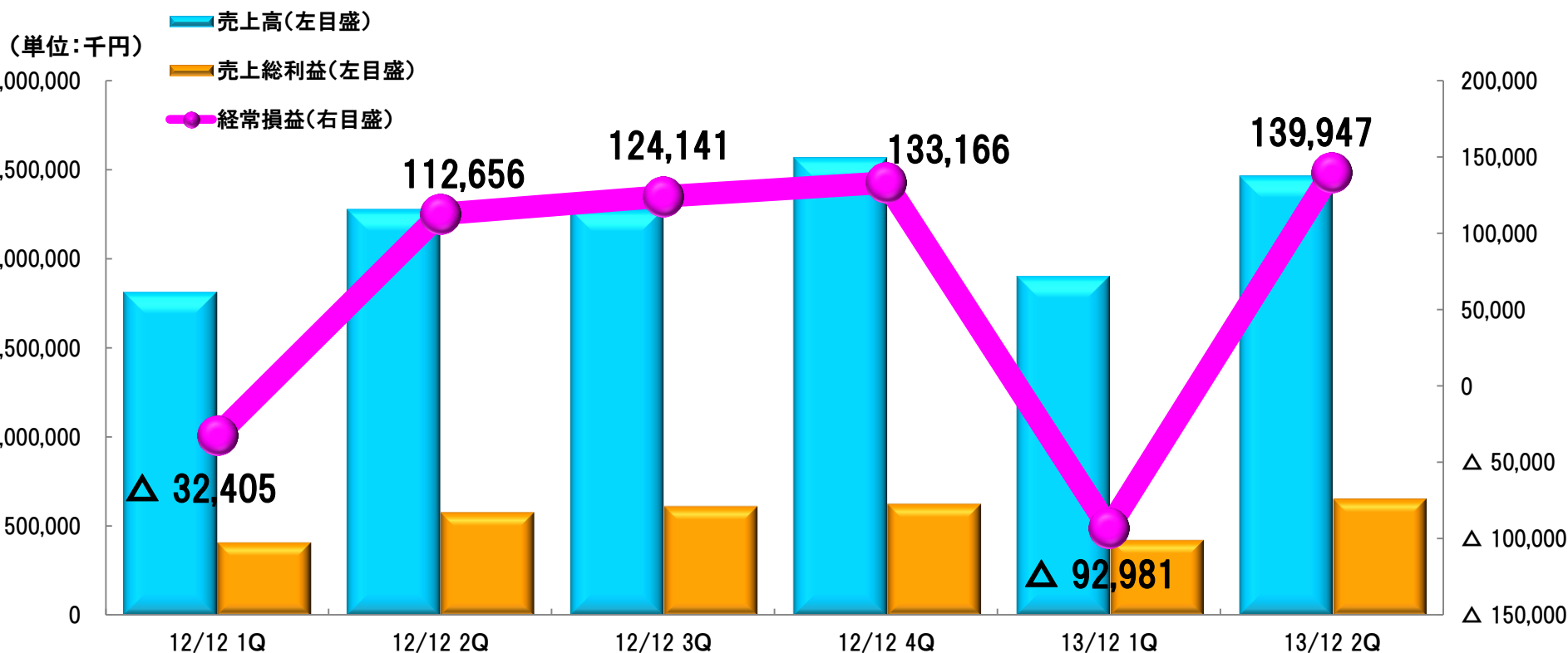
売上高につきましては、当初予想額より下回りましたが、販売費及び一般管理費の上昇を抑えられたことから、営業利益は前回(平成25年2月14日)発表した予想数値を確保致しました。

また、順調な売上債権の回収により金融機関等からの新規借入れを抑制したことから、借入諸経費を当初予想より大幅に削減することができた結果、経常利益につきましては、前回発表した予想数値を若干上回りました。

なお、当期純利益につきましては、第3四半期以降に回収予定見込みである繰延税金資産を大幅に計上することにより、前回発表した予想数値を大幅に上回りました。

四半期業績の推移

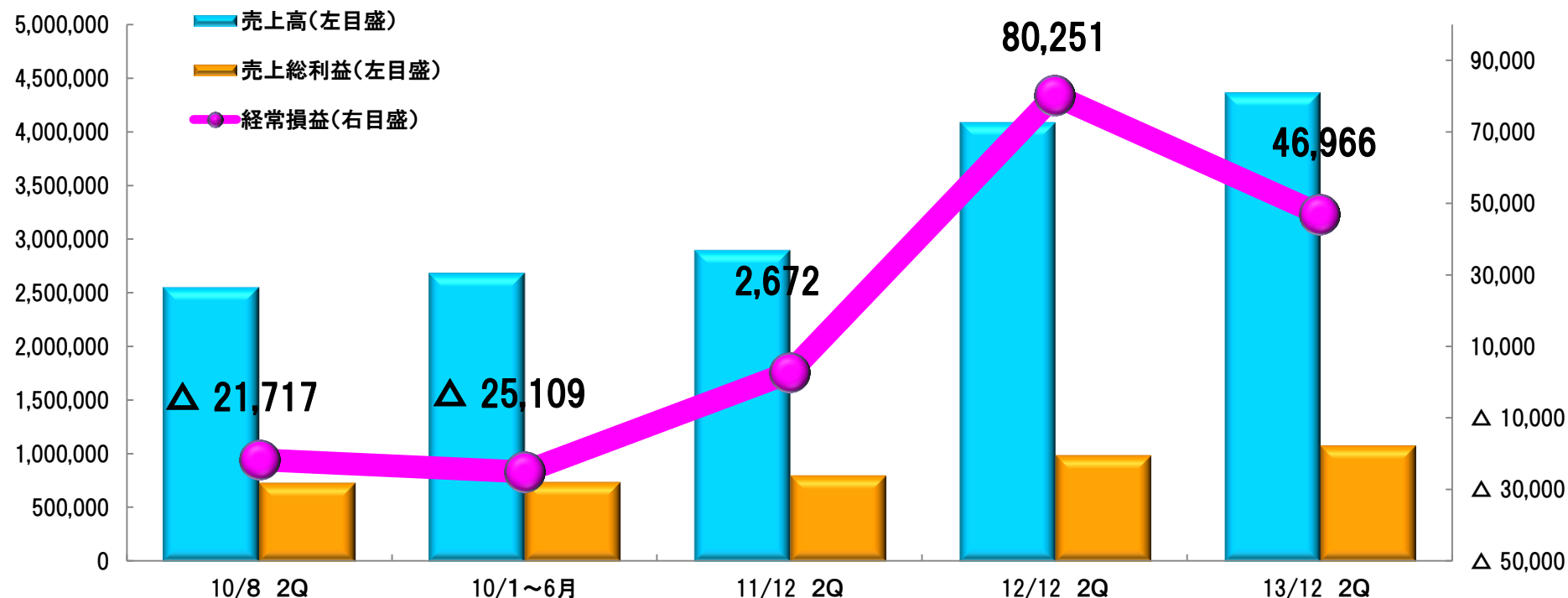
(単位:千円)	12/12月期 1Q	12/12月期 2Q	12/12月期 3Q	12/12月期 4Q	13/12月期 1Q	13/12月期 2Q
売上高	1,816,736	2,280,394	2,278,880	2,570,928	1,905,917	2,467,236
売上総利益	408,297	574,804	609,697	623,955	421,443	651,316
営業損益	△39,585	93,091	131,069	136,890	△88,090	145,481
経常損益	△32,405	112,656	124,141	133,166	△92,981	139,947
四半期純損益	△20,344	65,038	72,315	76,717	△60,662	76,417



連結損益計算書

(単位:千円)	10/8月期 2Q累計	比率 %	※10/1月~6月	比率 %	11/12月期 2Q累計	比率 %	12/12月期 2Q累計	比率 %	13/12月期 2Q累計	比率 %	増減 (千円)	前年 同期比 %
売上高	2,559,726	100	2,689,966	100	2,906,236	100	4,097,130	100	4,373,153	100	276,023	+6.7
売上原価	1,830,044	71.5	1,953,097	72.6	2,107,940	72.5	3,114,028	76.0	3,300,393	75.5	186,364	+6.0
売上総利益	729,681	28.5	736,868	27.4	798,296	27.5	983,101	24.0	1,072,760	24.5	89,658	+9.1
販管費	739,859	28.9	742,455	27.6	786,224	27.1	929,595	22.7	1,015,369	23.2	85,774	+9.2
営業損益	△10,177	—	△ 5,586	—	12,071	0.4	53,506	1.3	57,391	1.3	3,884	+7.3
経常損益	△21,717	—	△ 25,109	—	2,672	0.1	80,251	2.0	46,966	1.1	△33,285	△41.5
四半期純損益	△27,593	—	△ 35,252	—	13,179	0.5	44,694	1.1	15,754	0.4	△28,939	△64.7

(単位:千円)



連結貸借対照表

(単位:千円)	12/12月期 期末	13/12月期 2Q	前年同期比(%)
流動資産	3,497,871	3,354,495	△4.1
固定資産	849,673	944,005	+11.1
資産合計	4,347,544	4,298,501	△1.1
流動負債	2,347,535	2,283,267	△2.7
固定負債	868,530	876,024	+0.9
負債合計	3,216,066	3,159,291	△1.8
純資産合計	1,131,478	1,139,209	+0.7

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)	10/8月期 2Q	11/12月期 2Q	12/12月期 2Q	13/12月期 2Q	増減
営業CF	△5,037	△19,862	127,995	257,050	129,055
投資CF	△52,821	4,596	△48,189	△44,671	3,518
財務CF	△112,321	△117,812	8,317	△211,999	△220,316
現金同等物増減	△170,180	△133,079	88,122	△711	△88,833
現金同等物期首残高	655,921	626,585	830,507	886,662	379

営業活動によるキャッシュフロー(百万円)		投資活動によるキャッシュフロー(百万円)		財務活動によるキャッシュフロー(百万円)	
減価償却費	104	有形固定資産の取得による支出	△42	短期借入金の純増減額(△は減少)	△68
支払利息	15	無形固定資産の取得による支出	△10	長期借入れによる収入	180
売上債権の増減額(△は増加額)	151	貸付金の回収による収入	11	長期借入金の返済による支出	△196
仕入債務の増減額(△は減少)	△36			社債の償還による支出	△66
未払金の増減額(△は減少)	△29			配当金の支払額	△10
				ファイナンス・リース債務の返済による支出	△50

セグメント別売上高

		10/8月期 2Q		※10年1月～6月		11/12月期 2Q		12/12月期 2Q		13/12月期 2Q		前年 同期比 (%)
セグメント	項目	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
地盤改良事業	売上高	2,441,687	100	2,566,266	100	2,752,738	100	3,944,383	100	4,170,261	100	+5.7
	売上原価	1,751,050	71.7	1,866,518	72.7	2,006,723	72.9	3,013,031	76.4	3,159,080	75.8	+4.8
	売上総利益	690,637	28.3	699,746	27.3	746,015	27.1	931,352	23.6	1,011,181	24.2	+8.6
保証事業	売上高	64,241	100.0	55,503	100	64,241	100	83,262	100	91,932	100	+10.4
	売上原価	39,401	61.3	45,935	82.8	39,401	61.3	36,688	44.1	34,318	37.3	△6.5
	売上総利益	24,839	38.7	9,567	17.2	24,839	38.7	46,574	55.9	57,614	62.7	+23.7
地盤システム 事業	売上高	—	—	—	—	—	—	42,906	100	62,732	100	+46.2
	売上原価	—	—	—	—	—	—	45,706	106.5	78,561	125.2	+71.9
	売上総利益	—	—	—	—	—	—	△ 2,800	—	△15,828	—	△465.3
その他の事業	売上高	89,257	100	67,525	100	89,257	100	26,577	100	48,226	100	+81.5
	売上原価	61,560	69.0	36,387	53.9	61,560	69.0	18,602	70.0	28,432	59.0	+52.8
	売上総利益	27,696	31.0	30,508	45.2	27,696	31.0	7,975	30.0	19,793	41.0	+148.2
合計	売上高	2,906,236	100	2,689,294	100	2,906,236	100	4,097,130	100	4,373,153	100	+6.7
	売上原価	2,107,685	72.5	1,948,840	72.5	2,107,685	72.5	3,114,028	76.0	3,300,393	75.5	+6.0
	売上総利益	798,551	27.5	740,453	27.5	798,551	27.5	983,101	24.0	1,072,760	24.5	+9.1

地盤改良事業売上内訳

(単位:千円)	10/8月期 2Q	比率 (%)	10/ 1月~6月	比率 (%)	11/12月期 2Q	比率 (%)	12/12月期 2Q	比率 (%)	13/12月期 2Q	比率 (%)	前年 同期比 (%)
地盤改良工事	1,979,499	81.0	2,094,852	81.6	2,182,470	79.3	3,286,688	83.3	3,428,299	82.2	+4.3
調査・測量	423,978	17.4	431,246	16.8	494,643	18.0	630,601	16.0	684,376	16.4	+8.5
その他	38,210	1.6	40,167	1.6	75,626	2.7	27,092	0.7	57,585	1.4	+112.6
合計	2,441,687	100	2,566,266	100	2,752,738	100	3,944,383	100	4,170,261	100.0	+5.7

●新規事業、太陽光発電設備工事

●当社開発のバイブロドリル式ボーリング

による売上増加

(単位:千円)	13/12期 2Q
太陽光発電設備工事	137,875
バイブロドリル式ボーリングマシン	10,898

(件数)	09/8月期 2Q	10/8月期 2Q	10/1~6月	11/12月期 2Q	12/12月期 2Q	13/12月期 2Q	前年同期比 (%)
地盤改良工事	2,853	3,418	3,138	3,394	5,430	5,065	△6.7
調査・測量	8,068	8,689	9,055	9,635	11,148	11,230	+0.7

(件数)	10/8月期 2Q	10/1～6月	11/12月期 2Q	12/12月期 2Q	13/12月期 2Q	前年同期比 (%)
THE LAND件数	4,136	4,394	4,584	6,094	6,701	+10.0
認定店経由	2,018	1,622	1,851	2,547	2,693	+5.7
サムシング経由	2,118	2,772	2,733	3,547	3,442	△3.0
その他	-	-	-	-	566	-
認定店比率	48.7%	36.9%	40.4%	41.8%	40.2%	△3.8
認定店数	65	67	76	90	101	+12.2

認定店とは・・・

- 当社子会社GIRの地盤専門講習を受講した地盤関連会社(調査・改良会社)
- フルオートのSS調査機での利用義務及び指定の施工管理装置を利用

計画実績対比

(単位:千円)	13/12月期 第2四半期 (計画)	13/12月期 第2四半期 (実績)	差異	計画比 (%)	主な要因
売上	4,703,200	4,373,153	△ 330,046	△7.0	
(地盤改良事業)	4,506,400	4,170,261	△ 336,138	△7.5	地盤改良工事の減少
(保証事業)	84,000	91,932	7,932	+9.4	地盤総合保証「THE LAND」販売増加
(地盤システム事業)	50,105	62,732	12,627	+25.2	調査機等の販売増加による増加
(その他の事業)	62,695	48,226	△14,469	△23.1	新規事業の売上未達
売上原価	3,537,100	3,300,393	△ 236,706	△6.7	
(地盤改良事業)	3,399,500	3,159,080	△ 240,419	△7.1	売上高減少に伴うもの
(保証事業)	35,900	34,318	△ 1,581	△4.4	計画内に留まる
(地盤システム事業)	59,500	78,561	19,061	+32.0	調査機等の販売増加による増加
(その他の事業)	42,200	28,432	△ 13,767	△32.6	外注費の削減
売上総利益	1,166,100	1,072,760	△ 93,339	△8.0	
(地盤改良事業)	1,106,900	1,011,181	△ 95,718	△8.6	沈下修正案件の減少
(保証事業)	48,100	57,614	9,514	+19.8	THE LAND件数増加
(地盤システム事業)	△9,395	△ 15,828	△ 6,433	△68.5	外部売上比率の減少 調査機等の販売増加による売上原価の増加
(その他の事業)	20,495	19,793	△702	△3.4	住宅検査件数増加
販管費	1,108,400	1,015,369	△ 93,030	△8.4	諸経費の削減
営業損益	57,700	57,391	△ 308	△0.5	売上高の減少及び販管費の削減
営業外収益	2,800	5,944	3,144	+112.3	持分法に伴う収益の発生
営業外費用	20,000	16,369	△ 3,630	△18.2	支払利息の削減
経常損益	40,500	46,966	6,466	+16.0	営業外損益の改善
四半期純損益	1,000	15,754	14,754	+1,475.4	繰延税金資産の発生

2月

●コラムZ工法の開発(株)サムシング
→建築技術性能証明(GBRC一性能証明 第12-26号)

コラムZ工法の 建築技術性能証明



3月

●STK-W工法の開発(株)サムシング
→建築技術性能証明(GBRC一性能証明 第12-33号)

STK-W工法の 建築技術性能証明



●株式会社 E-ma(イーマ)設立

●SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD. 設立

4月

●くし兵衛工法の開発(株)サムシング
→建築技術性能証明(GBRC一性能証明 第13-03号)

くし兵衛工法の 建築技術性能証明



●しん兵衛工法の開発(株)サムシング
→建築技術性能証明(GBRC一性能証明 第13-04号)

しん兵衛工法の 建築技術性能証明



5月

●三重支店の出店(株)サムシング

【新聞】

掲載日:7月29日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

新聞名:日本経済新聞

内 容:『起業の軌跡』に 代表取締役社長 前 俊守
が取材協力致しました。

【雑誌】

掲載月:2月

会社名:株式会社 サムシング

雑誌名:建築技術

内 容:株式会社 サムシングが記事協力致しました。

掲載月:7月

会社名:株式会社 サムシング

雑誌名:HOUSING

内 容:株式会社 サムシングが取材協力致しました。

【メディア】

放送日:2月13日、14日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

番組名:KBS京都、J:COM『もらえどっとTV』

内 容:当社の事業について 代表取締役社長 前 俊守
が番組出演いたしました。



放送日:6月18日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

番組名:ラジオNIKKEI

「ザ・マネー～火曜日は櫻井英明のかぶとびら」

内 容:当社の事業について 代表取締役社長 前 俊守
が番組出演いたしました。





V. 2013年12月期 計画

計画損益計算書

(単位:千円)	12/12月期 (実績)	13/12月期 (計画)	差異	前年同期比 (%)
売上	8,946,939	10,677,000	1,730,061	+19.3
(地盤改良事業)	8,612,401	10,180,000	1,567,599	+18.2
(保証事業)	180,398	187,000	6,602	+3.7
(地盤システム事業)	91,418	118,000	26,582	+29.1
(その他の事業)	62,719	192,000	129,281	+206.1
売上原価	6,730,185	7,998,000	1,267,815	+18.8
(地盤改良事業)	6,503,629	7,652,200	1,148,571	+17.7
(保証事業)	76,620	79,800	3,180	+4.2
(地盤システム事業)	107,996	129,800	21,804	+20.2
(その他の事業)	41,938	136,200	94,262	+224.8
売上総利益	2,216,753	2,679,000	462,247	+20.9
(地盤改良事業)	2,108,771	2,527,800	419,029	+19.9
(保証事業)	103,778	107,200	3,422	+3.3
(地盤システム事業)	△ 16,578	△ 11,800	4,778	△28.8
(その他の事業)	20,781	55,800	35,019	+168.5
販管費	1,895,286	2,279,000	383,714	+20.2
営業利益	321,466	400,000	78,534	+24.4
営業外収益	49,811	5,000	△ 44,811	△90.0
営業外費用	33,718	45,000	11,282	+33.5
経常利益	337,559	360,000	22,441	+6.6
当期純利益	193,727	177,800	△ 15,927	△8.2

設備投資計画

(単位:千円)		12/12月期 (実績)	13/12月期 (計画)	前年同期比 (%)
設備投資額	固定資産取得	277,895	616,800	+122.0
	新規リース契約	70,374	280,800	+299.0
	合計	348,269	897,600	+157.7
減価償却費		191,760	265,600	+38.5
リース料		143,831	178,700	+24.2

人員計画

	12/12月期末 (実績)	13/12月期末 (計画)	前年同期比 (%)
グループ全体	310	360	+16.1
主な内訳			
(施 工)	62	76	+22.6
(調査・測量)	57	71	+24.6
(営 業)	33	44	+33.3



VI. 中期経営計画

■中期ビジョン

サムシンググループは、地盤改良事業を中心とした
『価値創造事業グループ』を目指します

- 労働集約型から知識集約型へ
- 新規事業のドメイン拡大
(住宅業界における付加価値サービスを創造)
- グループのシナジーによる企業成長

■中期テーマ

『グローバル企業への成長』

地域密着でお客様の要望に、お応えし、最先端の技術開発、グローバルな海外進出にて、グローバルとローカルを併せ持つ企業へ成長します。

＜地盤改良事業＞

- 大型工事及び非住宅建築物(小型商業用店舗、介護施設等)の成長市場への営業活動強化
- バイブドリル式ボーリングの体制を整備し、新しい価値を提案
- 独自開発及び共同開発工法の販売拡大
- 太陽光発電設備工事の販売拡大

＜保証事業＞

- 中低層住宅に対して調査から基礎までのコンサルタント業を確立し、住宅建築コスト低減を提案する
- 施主に対し調査・解析・施工・保証までのWeb-PR活動を積極的に行う

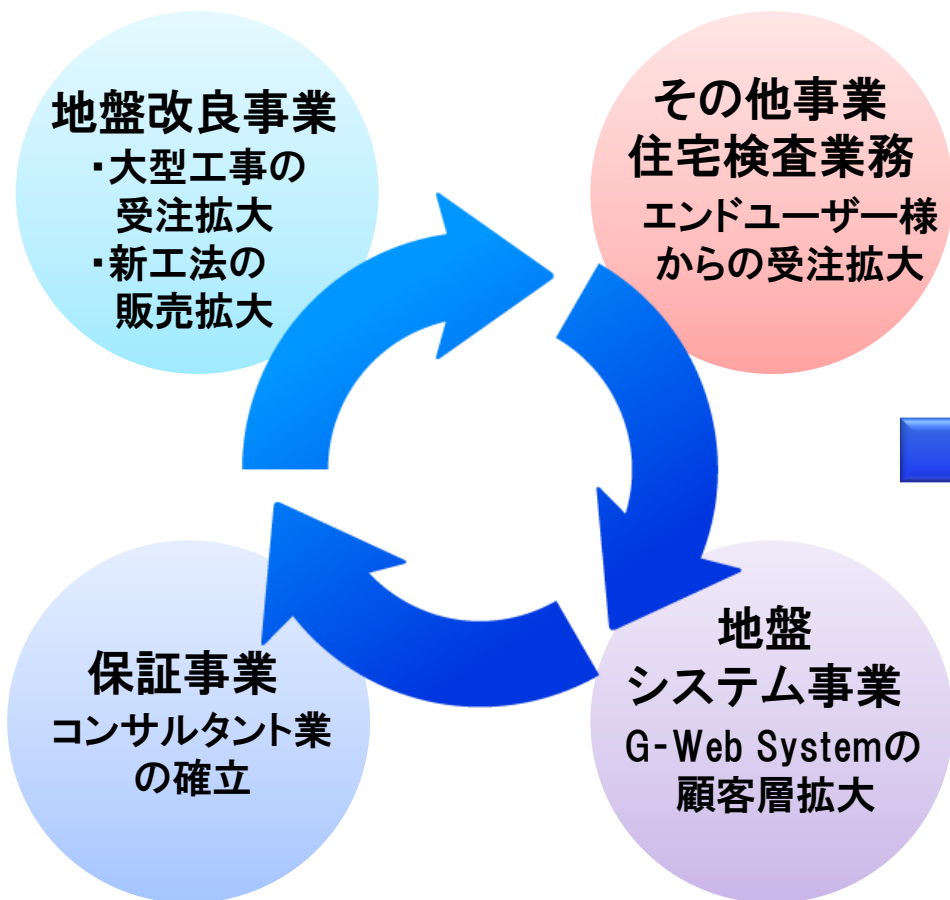
＜地盤システム事業＞

- 地盤データシステム「G-Webシステム」の顧客層拡大

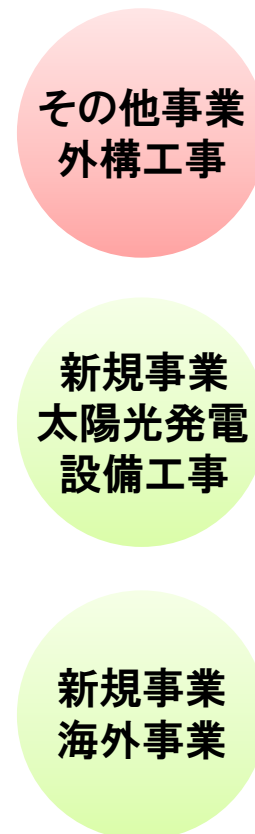
＜その他事業＞

- 「株式会社 住まいる検査」の顧客層の拡大
⇒エンドユーザー様の住宅検査の受注拡大
- 海外事業展開及び外構工事等の新規事業による企業成長の加速

グループ内のシナジー効果



新規事業による顧客層の拡大



グローバル企業への成長

2013年～2015年度 中期経営計画

(単位:千円)	13/12月期 (計画)	14/12月期 (計画)	15/12月期 (計画)
売上	10,677,000	12,180,000	13,600,000
(地盤改良事業)	10,180,000	11,585,000	12,900,000
(保証事業)	187,000	195,000	200,000
(地盤システム事業)	118,000	153,000	190,000
(その他の事業)	192,000	247,000	310,000
売上原価	7,998,000	9,040,000	10,085,000
(地盤改良事業)	7,652,200	8,630,000	9,600,000
(保証事業)	79,800	83,000	85,000
(地盤システム事業)	129,800	154,100	183,000
(その他の事業)	136,200	172,900	217,000
売上総利益	2,679,000	3,140,000	3,515,000
(地盤改良事業)	2,527,800	2,955,000	3,300,000
(保証事業)	107,200	112,000	115,000
(地盤システム事業)	△11,800	△1,100	7,000
(その他の事業)	55,800	74,100	93,000
販管費	2,279,000	2,600,000	2,865,000
営業利益	400,000	540,000	650,000
営業外収益	5,000	5,000	5,000
営業外費用	45,000	45,000	50,000
経常利益	360,000	500,000	605,000
当期純利益	177,800	283,000	343,000

	13/12月期末	14/12月期末	15/12月期末
人員計画	360名	390名	420名

ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

<http://www.sthd.co.jp>

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

氏名：笠原 篤

TEL：03-5566-5555

Mail：ir@sthd.co.jp